わたしが好き!なかまが好き!金屋小が大好き♥

~ねばり強く取り組み、ともに学ぶ喜びを味わう子をめざして~



豊川市立金屋小学校 令和6年10月24日(木)

- ・ 研究の取組 ★
 - 研究同人 ★
- ★をクリックしてください。

わたしが好き!なかまが好き!金屋小が大好き❤

~ねばり強く取り組み、ともに学ぶ喜びを味わう子をめざして~



自分を伸ばす ことができる 金屋小が好き

金屋小が大好き♥

仲間とともに 成長できる 金屋小が好き



わたしが好き

なかまが好き

ねばり強く取り組む子

めざす子ども★

ともに学ぶ喜びを味わう子

学習の充実★

生活の向上★

現職教育による教師の力量向上

同僚性を 高める取組★

研究3部会★

授業力を 高める取組★

学びの土台を つくる取組★

子どもの実態を とらえる取組★

学習の充実★

生活の向上★

教師の願い

- ①自信をもち、チャレンジしてほしい。
- ②あきらめずに夢中になって取り組んでほしい。
- ③達成感を次の活動の原動力としてほしい。

<u>子どもの実態</u> ・自分の好きなことへの探求心があり、意欲的に取り組むことができる。

教師の願い

- ①仲間と目標に向かって活動してほしい。
- ②仲間との活動による成果・成長を感じてほしい。 ③仲間とのかかわりによさを感じてほしい。

子どもの実態

・人懐っこく、誰とでも交友関係を築こうとする。

めざす子ども

金屋小学校の子どもの実態をとらえ、教師の願いを大切にした「めざす子ども」を設定し、教職員のめざす子どもの姿を統一した。また、めざす子どもを 3段階とし、どのレベルをめざしているのかを具体的に考えられるようにした。



自分を伸ばす ことができる 金屋小が好き

金屋小が大好き♥

✓ 仲間とともに成長できる金屋小が好き



わたしが好き

なかまが好き

ねばり強く取り組む子

- ①自信をもち、チャレンジする。
- ②あきらめずに夢中になって取り組む。
- ③達成感を次の活動の原動力とする。





ともに学ぶ喜びを味わう子

- ①仲間と目標に向かって活動する。
- ②仲間との活動による成果や成長を感じる。
- ③仲間とのかかわりによさを感じる。







金屋小学校の研究3部会の設立

授業部会、人間関係部会、情報活用部会の3部会を設立し、それぞれの分野からめざす子どもにせまる。





校長、教頭 教務、研究主任 研究推進委員

研究3部会

人間関係部会 情報活用部会 授業部会

学年ブロック会

低学年ブロック+教務 中学年ブロック+少人数+日本語

高学年ブロック+養護+専科 4組ブロック+校務+教頭

教科部会



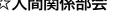
☆授業部会

- ・話し方、聞き方の確認
- ・授業公開週間の提案
- ・研究の手立ての抽出と共有化



☆人間関係部会

- ・WEBQUの活用方法の提案
- ・「ミニなかまとタイム」の提案
- ・人間関係を育む手立ての模索





☆情報活用部会

- ・ICT機器の活用した教育活動や掲示物の提案
- ・研究アンケートの提案、分析
- ・クラウドを活用した情報共有





子どもの実態をとらえる取組

①日々の子どもとのコミュニケーション

金屋小学校のすべての子どもたちとの関係性を築くために、教職員が積極的に声をかけるようにする。





②hyper-QU→WEBQUの実施

年2回、WEBQU(昨年度 hyper-QU)を実施することで学級の実態を分析し、子どもたちへの指導に役立てるようにする。

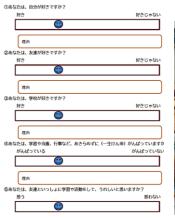




hyper-QUの満足群にいる子ども(2023年) 7月 12月 62.8% 64.5%

③研究アンケート

子どもたちの実態と現在の研究の状況を確認するためにアンケートを行い、よりよい姿を追い求める。







学校が好きと感じている子ども(2023年) 9月 2月 79.7% 85.6%



同僚性を高める取組

①対話する協議会

授業における気づきを言語化し、伝え合うことで、学びを共有化し、自己の行動化につなげる。



協議会を通した学びを日々の授業に活かす ことで、授業力向上を図る。



②主体的な研修会

hyper-QU、WEBQUの結果から子どもの 実態把握と今後の方策について、講師の先生 をお招きし、検討する。



構成的グループエンカウンターやグループワークトレーニングの研修会を行い、今後の教育活動に生かす。



③学びのアウトプット

部会での学びをアウトプットする場を設定 し、研究を共通理解する。



研究の方向性や推進委員会の内容、研究授業の振り返りなどを研究通信「大好き≫」を発行して伝え、共通理解を深める。

金屋小学校 研究だより 令和5年9月29日 No.23

(1) 人間コピー

人間関係部会の主催で、エンカウンター講習会を行いました。 講師の福田先生ご自身はもちろんのこと、先生方も楽しそうに取り組んでいる姿が見られました。これが、金屋小のよいところですね。楽しむところは楽しな、そんな教員集団が素敬だなと思いました。今後は、先生方



が楽しんだように、子どもたちも楽しむことができる機会を設定することで、安心して生活ができ「自分が好き」な子が増え、研究主題である「金屋小が大好き」に近づける気がします。 お忙しい中かと思いますが、子どもたちの自己肯定感や所属感を高めるために、エンカウンターなどの取り組みを継続的に行っていきましょう。人間関係部会の先生方、会の運営等ありがとうございました。次回も楽しみにしています。



学びの土台をつくる取組

①視覚化・焦点化・共有化

②話す・聞くを大切にする

③ICT・具体物の活用

より効果的な学習道具(タブレットや具体物)

を、教師や子どもが選択し、学習をすすめられ

るようにする。

日々の授業で焦点化(学習のねらいや活動

を絞り込む)、視覚化(授業における情報を見 えるようにする)、共有化(話し合う、伝え合 う、協力し合う場面の設定)を意識した授業づ くりをめざす。

「話し方」、「聞き方」を大切にするために、発達 段階に応じた掲示を作成する。

> 金屋っ子の話し方 > □

みんなを 見て 2 聞こえる 声で

3 わかりやすく

4 さいごまで

> 金屋っ子の聞き方 > □

1 よいしせい

2 反応しながら

3 最後まで













授業力を高める取組

①全体研究授業の実施

全体研究授業を行い、授業力向上に努める。また、外部から講師: (兵庫 教育大学 教授 山内敏男先生)をお招きし、協議会で参観者の知を高め、 活性化することで、今後の取組に生かす。





③実践を振り返る

教師の研究授業の学びを活かしながら、自分の実践を分析するために 本校の現職研修の冊子「あしなみ」を発刊する。





(1) マット島の智能に出かけるために、いろいろな理を身につけよう		
マット為で様々な働きを考えさせるため、単元の始ま	9 KE . NA	CRACRA
ろいろな效の練習を行った。前年度、1年生でもマット	音びでい	MEN'S
くつかの技を練習しているので、それを復習しつつ、新	2000	WARRY .
練覧した。練習の単には、「くちんくちん」と「びょんび	2410	STANSFAL.
オノマトベを使い、回転高と数支持高の技に分けて行っ!	1. (資料	ARREY.
1)。 全員がすべてできるわけではないので、練習の中で、	とうした	2.0 (187)
もうまくできるかポイントを考えながら行った。子ども:	thir	Political.
きるようになりたいという思いが強いので、できない扱	のボイン	981:
トモー生態命考えながら取り解んでいた。また、できる	2362	本単元で扱った技
るために、上手にできる友達の考えたポイントを	-	
聞いて取り組む姿が充られた。A児は、日児の考え 着も	程がリコ、	古くんが言っていたお
		ごにかでおすとうまく
		かりました。やってみ
たのが、できるようになり、女達のアドバイスの大 和らできました。 製料: 人間の関リはり		
切さに気づいたようだった (資料2)。	MMI	大変の値を埋り
(2) いろいろな形のマット島		
方回のマット島では、子どもたちが自由に働きを考え、	取り用の	The second second
るようになることを裏点においた。そこで、4つの鼻を	設定した	
(年光の構想参照)。1つ日の「まっすぐ島」では、2枚	0401	The same of the sa
が確に並んでおり、展習時と異様に基本的な場となって	1.8. 2	
つ目の「ジャングル島」では、韓田物がある(資料3・	(), He	260:
頼んだり、タモをよけたりしながら進んでいく。3つ日の	762012	ジャングル系の別
し鼻」では、皮漉といっしょに運動する袋になっている。	9420	シインテル機の用
ヨスモス集会で4年生がシンクロマットを発表した。そ	の様子を	1000
子どもたちは気でいるので、その姿調を取り入れて動き	2425	
ことができる。4つ目の「くねくね島」では、向きを変え	マル無フ	00 0
いて、「まっすぐ島」で単純に前に強むだけだったところ	8-5. W	0
小で向きを変えることで様々な方向朝韓ができる。		204
また、今回はただ回るだけでなく、適く回ることを意識	2425	Sevenhore
った。遠く初ることで復をきれいにできることにこだわ	57. 8	
あいでなくても遊びことを大切にしてほしかった。そこ	T. BE	The same of the same of
は疲が辿り、のんびりしていると食べられるという検定	ELA.	64116
そうすることで子どもたちは進げるために達く切ろうと	ERTS	3/
ことができた。きらに、鼻の周りにはナメの動を置き、ま		the statement of the
って身から落ちないようにすることも意義させた(資料)	17. 75	資料を: マットの
もたらは、こららが「誰く」や「まっすぐ」と言わなくて	CHES.	見りに変かれたサメ
に強動することができた。		
(3) ペアママット曲を求わってみよう		
	LODES	した事をどうまる。様
技の練習を終えて、一度各島を質集することにした。	もつの影を	した島やイタスト。韓

②構造的な授業案の作成

子どもをとらえ、めざす子どもを大切にした計画的な指導により、教師 の力量向上につなげる。

第4学年2組 算数科授業案

令和6年7月1日(月)第5限 場所 4年2組教室

1 めざす子どもの姿にせまる教師の営み

≪子どもの実態≫

- (・教科,領域について ◎現職研修について) ・計算問題や数学的活動に集中して取り組むことができる。自分の考えや解き方などを、わかりやすく
- 伝えることができるようになってほしい。 ◎教師が提示する課題に対して、グループやペアで力を合わせながら、全員が学習に取り組めるように なってきた。課題を自分で設定し、その課題が達成できるように主体的に学習に取り組んでほしい。

≪単元名≫

めざせ!一流のトレジャーハンター!

(垂直・平行と四角形)

≪単元權想≫

隠された宝箱の鍵を見つけ出そう!~垂直と平行~

- ①②平行島と垂直島でのハンター試験に合格しよう!
- ・平行と垂直についてわかったぞ。
- ③④伝説の文具:三角定規を使いこなせ!
- ・三角定規の使い方をマスターしたぞ。
- ⑤ハンターライセンスを作ろう I
- ・三角定規で、正確な長方形が描けるぞ。
- ⑥暗号を解いて、隠されたカギを見つけ出そう! ・鍵がこんなところにあるなんて、びっくりした。
- 隠された宝箱を見つけ出そう!~平行四辺形と台形~
- ⑦⑧四角形島でのハンター試験に合格しよう!(本時)
- ・平行四辺形や台形がどんな形かわかったぞ。
- ⑨⑩⑪伝説の文具:コンパスを使いこなせ!
- ・コンパスを使えば、正確な図形が描けるぞ。
- ②暗号を解いて、宝箱を見つけ出そう!
- ・暗号を解いて宝箱をみつけたぞ!開けてみよう。
- ⑬ハンターライセンスを作ろうⅡ
- ・同じ図形を敷き詰めると、きれいな模様ができるぞ。 ⑭⑮自分だけの宝の地図を作ってみよう!
- 自分だけの地図が描けたぞ!
- ⑩レベルアップした自分を振り返ろう。
- あきらめず最後までがんばった。

《めざす子どもにせまる手立て》

- ◎単元に貫くテーマを設定することで、子どもの 興味・関心をひき、全員が積極的に学習できる ようにする。
- 用語の意味や作図の方法を覚えることだけにな らないように、算数的活動を多く取り入れる。
- ◎本時のめあてを各自が設定することで、授業に 主体的に取り組めるようにする。
- ◎本時のめあてと振り返りを一枚ポートフォリ オ(ハンター日記) に書かせたり、毎時間後に お宝シールを貼ることで、毎時間の日々の達成 感を感じられるようにする。
- ◎単元を通して、【個の学習⇒伝え合い活動⇒個 の学習】の流れで取り組むことで、助け合いな がら、それぞれが責任をもって学習できるよう にする。
- ・平行四辺形の作図技能を定着させるために、三 角定規やコンパスを扱う経験を多く取り入れ
- 平行四辺形や台形、ひし形の対角線についてお さえるだけでなく、三角形を組み合わせてでき ることに着目させ、画用紙で作った三角形の教 具を用意し、形がわかりやすいようにする。

≪めざす子どもの姿≫

【単元の目標】〈思考・判断・表現等〉

・直線の位置関係や図形の性質について考え、その理由を表現する中で、わかりやすく相手に伝わるよ うに工夫したり、わかったことを伝えようとしている。

【現職教育の目標】〈ねばり一②あきらめずに夢中になって取り組む子〉

◎自ら学習課題を立て、その課題をあきらめずに追究し、解決しようとしている。



ねばり強く取り組むために(学習の充実)

①魅力的な教材の模索と選定

②個の学びを大切にする

③学びを生かす取組

子どもの思考を大切にし、疑問、発見、感動のある単元を構想する。

学習課題の吟味、一人調べの保障、机間指導、朱書きなどを通して子どもを支える。

子どもたちの実態と現在の研究の状況を確認するために振り返りを生かし、よりよい姿を 追い求める。















ねばり強く取り組むために(生活の向上)

①自己の大切さにふれる

子どもたちの実態にあったテーマを選定し、 自己を見つめたり、自己肯定感を高めたりす る場を設定する。





②子どもの善行を認める

子どもの善い行いや頑張りを認め、広める 活動として「きらきら金屋っ子賞」を贈る。昼の 放送で紹介し、毎月、学校集会で表彰すること で、子どもたちの心を育む。





③主体性を生かす特別活動の充実

子どもたちが主体となった活動をめざすことで、高学年の子どもたちに達成感を味わわせるとともに、低学年の子どもたちには憧れをもつことで、未来の自分に夢がもてる。







ともに学ぶ喜びを味わうために(学習の充実)

①仲間とかかわる場の設定(ペア・グループ活動)

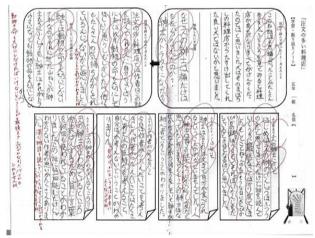
②仲間との学びを大切にする

③成長を実感する

目的を意識して、効果的なペア活動やグルー プ活動を行う。 仲間の考えから自己の学びの深まりがみられたことを実感できるような振り返りを行う。

仲間とのかかわりから自己の成長を実感する場を設定する。(振り返りや対話の場)





単元後に仲間とのかかわりで成長した要因について対話を通じて考えさせることで、仲間とのかかわりの大切さを感じさせる。







5.6年生や先生がいなかったら、防災学習はないし、<u>みんながいてくれたおかげで</u>、いろいろなことができ、防災について学びました。これからも「仲間」と一緒に学んで話し合えたらいいなと思いました。防災学習がなかったら、みんなと話し合ったり、一緒にいる時間がないと思うから。みんなに自分の意見が言えてうれしいし、<u>この時間をこれからも大切にしたいな</u>と、防災学習で思いました。 (6年A児の振り返り)

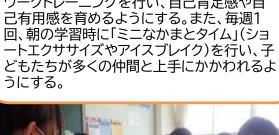
ともに学ぶ喜びを味わうために(生活の向上)

①仲間とかかわる場の設定(ペア・グループ活動)

②仲間を大切にする取組

③異学年交流で仲間を広げる

構成的グループエンカウンターやグループ ワークトレーニングを行い、自己肯定感や自







お互いのよさに目を向け、大切に思う気持 ちを育てるために、「ぽかぽかカード」や「あり がとうカード」で気持ちを交流する活動を行 い、花の咲く木として掲示する。また人権集会 を行い、人権意識を高められるようにする。





1・6年、2・5年、3・4年をペア学年とし、毎 月1回の昼の放課(30分間)に異学年交流「な かまとタイム」を行う。異学年交流を通して、学 年を超えた仲間づくりをすすめる。







研究同人

【令和6年度】

伊藤 克裕 桑野 和美 加藤 佳之 中野 佳美 小久保智之 後藤 彩 木村 健人 山本 晃司 曽田 裕也 壁谷 健太 城所 里奈 川添 雄司 福田 剛貴 松倉 春陽 野澤 悠真 金山 孝宏 石田 絢香 西尾 友恵 髙柳 容子 行田留実子 早川 広幸 髙津 夏穂 戸ヶ里郁美 野田 健太 渡邊 富江 森田 典子 田中 幹唯 西村 美保 竹下 吉枝 佐藤 智美 松下 智子 山本 光恵 市川 明美 竹内 美江 酒井しのぶ

 武藤
 将彦
 林
 宏輝
 村田
 咲奈
 今井
 祐斗

 渡邊美代子
 辻井
 郁江
 外山
 佳子
 山口
 満

【令和5年度】

【令和4年度】

庄子 晋 川﨑 良訓 真島 貴美 藤岡 祐紀

岡本 義彦 鈴木 明美 小澤 陽子

ご指導いただいた先生方

【令和6年度】

兵庫教育大学 教授 山内 敏男 先生 名古屋産業大学 准教授 本田 真 先生

【令和5年度】

兵庫教育大学 教授 山内 敏男 先生 豊川市立御油小学校 白井 全子 先生 元豊川市立一宮西部小学校長 西郷 知之 先生 前豊川市立牛久保小学校長 波多野愼次 先生 豊川市立中部小学校長 鈴木 一哉 先生

【令和4年度】

スクールソーシャルワーカー 馬場 孝利 先生 豊川市立代田小学校長 野田 佳宏 先生

※肩書きは、その年度のもの









